

ご使用にあたって

- 1 このプログラムは、医療および教育関係通訳未経験者（成人）向けに作成されたものであり、研修受講者に対して必要な知識、通訳技術、心得等の学習機会と学習方法を提供し、ボランティア人材を養成することを目的としたものです。
- 2 言語能力は日常会話を通訳できるレベルであることが前提となっております。したがって一般的な語学力向上を目的としたプログラムは含まれておりません。
- 3 医療通訳コースにつきましては、中学レベルの人体器官・病気・けがの知識を持っていることを前提としています。
- 4 研修時間に応じて、医療通訳コースとして3コース（6、12、18ユニット）、教育関係通訳コースとして2コース（6、12ユニット）を提示しています。1時間半を1ユニットとし、最初と最後の10分間を研修内容の定着のためのふりかえりの時間に設定しています。
- 5 研修後の自己学習・自発的グループ学習が大切であると考えております。したがってその土台や機会を作り出せるよう、参加型学習の手法を取り入れています。
- 6 このプログラムはいわゆるモデル・プログラムであり、参考事例として提示したものです。実際に研修を行う場合には、各地域の状況に応じて研修プログラムを事前に十分にご検討下さい。
- 7 コーディネーターや補助者などの人数および休憩時間等は、状況に応じて柔軟に対応願います。
- 8 グループディスカッションのグループ分けは、言語別・地域別が望ましいと思われれます。

- 9 コーディネーターは、1人が全ユニット通しで行うことを想定しております。「ふりかえりペーパー」の添削は、各回終了後行うことを想定していますが、1日に2～3ユニットまとめて行う場合は、同ペーパーの返却は次回に行ってください。
- 10 受講者の集中度の持続を考えると、1回（1日）につき3ユニットが最大限であると思われます。
- 11 プログラムには、あえてページがふってありません。ご使用になられる際に各自でふってください。